|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 2024第1,2,3 RUTC答えの永遠(47)　 (社)世界福音化伝道協会　www.weea.kr | | |
| 2024年11月23日　週間祈りカード | | |
| △産業宣教/北朝鮮宣教局礼拝  危機に置かれた者を助けた産業人(ロマ16:23) | △RTとTCK伝道学  237 – 5000種族を生かすレムナント | △核心/北朝鮮宣教局礼拝  サマリア伝道(使8:4-8) |
| □序論\_聖書、歴史  1.計算x-契約　私たちは計算でなく契約だ。いつでも危機にあった人を助けるべきで、危機にあった国を生かすべきで、それが皆さんの大きい祈りにならなければならない。  2.利益x-関係　私たちは利益が問題でなく神様との関係だ。  3.今日x-未来　私たちは今日を見るのではなく未来を見るのだ。それで北朝鮮宣教以前に、危機に陥った人を助けなければならないという使命が先になければならない。  △それでこそ、聖書を知って歴史を知ることだ。  永遠の中の今日　永遠の中の今日だ。私たちが受けることは永遠に歴史の中に記録されるだろう。今日に見えるが、永遠の中の今日だ。一つの人生映画を撮ると考えれば良い。  ロマ16:23助けてはいけない人々を助けたのだ。すべての伝道者を助けたのだ。  □本論  1.出18:1-21イテロ  1)殺人犯-指名手配　ひとまずモーセは殺人犯で指名手配されている。この人を助けたのだ。  2)婿　助けた程度でなく婿とした。  3)契約　この人はものすごい契約を持っている。初めて千人の長、百人の長という単語が出てきた。最後までモーセを助ける内容が出てくる。時代を変えたのだ。  2.ヨシ2:1-16ラハブ  1)遊女ラハブ　単純に偵察を助けたのではない。  2)契約　神様を信じる信仰を告白して契約が出てくる。  3)未来　この人は重要な未来を話したのだ。現在のエリコの中にはみな崩れていることを話したのだ。それゆえ、確実な契約を持ってヨシュアが入った。  3.Ⅱサム17:27-29　バルジライ　ダビデが王宮から追い出されたときに現れた人だ。食べ物、器、必要なことを王に与えた。  4.I列18:1-15 100人　王が殺そうとする預言者を100人隠したのだ。アラムの国を打ち破るものすごいことが起こる。  △危機に置かれた人々を生かす者にならなければならない。そして危機に置かれた国を福音対象1位とすべきだ。  5.ロマ16章　この人々が全部危機を選択したのだ。  □結論\_ロマ16:25-27永遠  神様は世々にわたって隠しておいたこと、とこしえまで神様に栄光帰すことを与えられたのだ。  △産業人、特に長老は教会の中でいつでも危機に置かれた人を訪ねて行きなさい。 | □序論\_次世代(RT?TCK)  実権を握った「次世代」の中から目が開かれた人が北朝鮮を生かす人だ。それなら、「RT-TCK」がとても関連性がある。  歴史的証拠-ローマの国教を宣言したコンスタンティヌスも、後ほどローマの皇帝になったが、驚くべきことに、難しい時期にコンスタンティヌスの母親は祈りの人だった。  1.契約を握って　2.証拠がくれば　3.証人として立つのだ。  □本論  1.237-RT – 237か国を生かすことができる答えはレムナントだ。  1)創41:38ヨセフがファラオから総理指名を受ける。  2)出5:1-12:46エジプトに10の奇跡が起こると全世界が皆知るようになった。  3)Iサム17:1-47ダビデ1人がペリシテを完全に打ち破ってしまったのだ。  4)ダニ1:8-9捕虜になって行っても、このようなレムナントだけいれば世界を生かすことが起きる。  5)ヨハ21:15-18イエス様が「子羊を飼いなさい」十字架を背負って行きながらも、「あなたの子どもたちのために泣きなさい」と言われた。  2.5000-TCK - 5千種族を生かす答えはTCKだ。  1)使17:1 　2)使18:4 　3)使19:8  △パウロが遠く見通して会堂で弟子を育てたのだ。  □結論\_北朝鮮  CCK完全に暗い側、反対側の文化を持っている次世代  NCK 90%は文化がない。  △門を開ければ生きるが、門をみな閉じておいて、悟れないのだ。神様のみこころは多民族だ。ある面では一つの民族だ。それを悟れなければ、続けてわざわいが臨む。 | □序論\_ 24  1.朝-1:1呼吸連続、一つの呼吸に10秒、吸い込む時7･7･7一つずつ、息を吐き出すとき牧師たち、北朝鮮のために祈り  2.昼-すべてを祈りに変えなさい。下丹田に基準を置きなさい。  3.夜-深い祈り(1:2:4呼吸)  1.わざわいの中にあるこの時代-戦争を起こす強大国、独裁者、誤った理念、限りない戦い  2.のろい  3.暗闇の中にいる人々-なぜ生きるのか理由を分からない若い層(傷、揺れる信仰生活→祈りに完全に変えなければならない)  福音平和統一-北朝鮮を生かす唯一の方法、この奥義(朝、昼、夜)をもって祈る時  1.霊的な風が起こり　2.戦わずに勝つ　3.暗闇縛られる  □本論\_サマリア伝道のような北朝鮮宣教  1.歴史-ソロモン王がそばめとして入ってきたほかの国の王女の偶像崇拝を許した、偶像の町になったイスラエル、国分裂。北イスラエルの首都がサマリア  B.C.722アッシリア侵略-北イスラエルの男は奴隷として売られて異邦人の奴隷と北イスラエルの女たちが結婚  B.C.586バビロンに捕虜なった南ユダ-バビロンから帰ってきた南ユダはそのまま維持したが、イスラエルは偶像崇拝で難しい国になった  2.北朝鮮に最も必要なことは福音  1)福音だけを伝える伝道弟子　2)ただキリスト　3)ただ癒やしが必要  △これが準備されれば神様は平和的に北朝鮮に門を開かれるだろう。  3.方法-北朝鮮にレムナントが起きたり、レムナントが北朝鮮に入って福音運動起きなければならない。それゆえ、パウロがいのちをかけて会堂に入り込んだ。ここに絶対やぐらを作らなければならない。  1)使17:1 　2)使18:4　 3)使19:8  エペ6:12私たちの戦いは主権、権威者、犯罪集団、おかしな宗教を作って掌握しているサタンとの戦い  ヨハ16:11-14目に見えないようにあらゆる事を握って王になるサタン  Ⅱコリ4:4-5世の神　Ⅱコリ10:4-5人の中にやぐらを建てて要塞を作る。  マタ12:26-30個人の中に入って掌握していること  福音を受けて救われる瞬間終わったこと、ひっくり返ること  ヨハ14:16救われる瞬間、聖霊が私たちの中に働く  Iコリ3:16あなたがたが神の宮、神様の聖霊があなたがたの中に。それゆえ、聖霊に満たされれば力を受けて、地の果てまで証人になる。  △24祈りを見つけ出して北朝鮮を置いて祈りなさい。 |
| △散らされた弟子たち  散らされた弟子たちの福音運動(使17:1) |
| 散らされた弟子たちは、だれを握って福音運動すべきなのか。  1.留学生　それゆえ会堂が出てくるのだ。  2.難民、TCK、CCK、NCK  3.流浪の民  このような人々を置いて入り込むのが、聖書には散らされた者、寄留者（旅人）、レムナント。レムナントは二種類の意味がある。残りの者、捨てられた者。捨てられた者のように見えるが残りの者だ。 |
| 2024第1,2,3 RUTC答えの永遠(47)　 (社)世界福音化伝道協会　www.weea.kr | | |
| 2024年11月24日　週間祈りカード | | |
| △区域メッセージ第47週  アンティオキアの道しるべと永遠の答え(使11:19-30) | △聖日１部  感謝しつつ神に求めなさい(ピリ4:1-7) | △聖日２部  伝道者の現住所(ピリ4:10-20) |
| □序論  レムナントは小学校に入り始めれば、事実上、悩みが始まる。親には話をしないが勉強、課題、環境、このような部分が難しい。また、中学校に入れば、さらに深刻になり、高等学校に入れば、ほとんど未来が決定される。そして、大学入って青年になれば、そうではないようにだますのだ。このレムナントの霊的状態はどうなるだろうか。祈りを教えなかったから、脳が休むことができないのだ。家族、友だちに慰めを受けるが、霊的なことが解決できない。それゆえ、結婚してもさらに難しくなりかねない。それゆえ、レムナントに祈りが何であるかを教えなければならず、その部分を見つけて味わうようにしなければならない。  ヨハ19:30 カルバリの丘で完了された。  使1:3 オリーブ山で背景を説明、何の祈りをすべきなのか説明された  使2:1-47 マルコの屋上の部屋で聖霊の満たしを体験した。  使11:19 アンティオキア教会の道しるべだ。パウロをここに送った。  使13:1-4 初めての宣教地でこの答えをみな受け、完全に聖霊に導かれるようになった。  使16:6-10 アジアの門が閉ざされて、マケドニアに行った。  使19:21 ローマも見なければならない。  △ピリ4:6-7レムナントに少しだけ祈りを教えて、祈るようになれば心と思いを守られるようになる。これが「やぐら」、「旅程」であり、道しるべに行くことだ。  □本論\_アンティオキア(使11:19)  ステパノの迫害によって散らされた者たちで、確実な契約を持った者だ。  1.答えを受ける時刻表  1)力 私たちは御座の力を味わっているので迫害が来ても大丈夫だ。  2)使7:1-60 ステパノが死んだ現場にパウロがいた。ダマスコに行くとき、福音に会ったのだ。  3)散らされた者たち 神様の力を知っているので大きな時刻表、世界宣教の大きな門が開かれたのだ。  2.使命回復する時刻表  1)使11:25-26 迫害を受けるアンティオキア教会でバルナバとパウロの出会いが成り立った。  2)このことの中で世界宣教が起きた。  3)バルナバとパウロは神様の命令を受けて出て行った最初の宣教師だ。  3.世界を生かす時刻表  1)使11:28-30天下に飢謹が起こったがアンティオキア教会だけ祝福を受けた。  2)この教会を通して全世界の門、特に多民族に門が開き始める。  3)マケドニア 所々にパウロが絶対やぐらを建てる。  □結論  1.福音 私たちの中には福音を味わっている。  2.伝道、宣教という祝福が残っている。  3.祈りシステムだけ備えれば世界福音化ができる。 | □序論  1.困難の中で一番感謝した聖書の代表的人物 1)ダビデ 2)パウロ 3)ダニエル  2.彼らが感謝した理由-神様の正確で確実な契約と祝福を発見  1)神様は皆さんを祝福することを願われる。  2)ただし(ただ)祈りと願いによって、祈りを分かれば神様の平安があなたがたの心、思いを守られる。  3.神様の正確な契約と祝福を見るける方法-神様が準備された三つのこと  1)私の中に100%御座のやぐら準備(ヨハ14:16、26)  2)皆さんの旅程を100%準備(マタ28:20、使1:8)  3)困難は証拠をたてる道しるべ。システムと未来を100%準備  ※イエス様がこの祈りだけしなさいと言われた(マタ6:33、使1:3)  □本論  1.レムナントと青年たち-学業300%準備  1)祈れば良い。神様によって可能だ。  2)神様が与えられたやぐら、旅程、道しるべを完全に準備しなさい。  3)モデル  (1)幼い時にあらかじめ持っていた人々-ヨセフとサムエル  ※レムナントは今日から祈りなさい。すると御座のやぐら、旅程、道しるべが300%生じる。  (2)遅く悟った人-モーセ  2.信徒と重職者-職業に300%準備  1)アブラハム 決断を下してすべてを譲歩した後、祭壇を築き始めた  2)ヨケベデ 祈りの奥義300%専門性の中でモーセを生かすことができる道を発見  3)遊女ラハブ うわさだけ聞いて主がまことの神様であることを告白、情報伝達、カナン入城、その子孫がダビデ  4)オバデヤ 王の臣下、エリヤの弟子、預言者100人を隠して霊的戦いの橋の役割  3.教役者-伝道、宣教300%回復  1)キリストで答えが出なければならない。それでこそ、一般信徒にまことのことを与えることができる。  ※ただキリストの他は反キリストだ。サタンが一番恐れることが、ただキリストだ。  2)完全に聖霊の導きを受けなさい。  3)世の中が変えることはできない病んでいる者に行って癒やしたパウロ  4)会堂に入ったパウロ キリストの当為性、礼拝と祈り、まことの答えである神の国を説明→会堂で育った人物がローマを変えた。  5)パウロの告白(ピリ3:7-21)キリストの手で捕えられたこと、上から与えられる賞、天国の国籍  □結論  1.神様の特別な計画と祝福を発見するには  1)計算でない契約　2)利益、損害でない神様との関係　3)今日でない未来  2.私たちの信仰が予算であり神様の祝福が決算だ。  3.いつも感謝(Iテサ5:16-18)  ※答えを見つけるだけで、契約を握るだけで答えが与えられる。 | 答えを受ける実際的なこと  ピリ4:13 私を強くしてくださる方にあって生きている。これが現住所だ  ヨハ15:7 あなたがたがわたしにとどまり、わたしのことばがあなたがたにとどまっているなら、何でも欲しいものを求めなさい。そうすれば、それはかなえられます。  Iコリ3:16 あなたがたは、自分が神の宮であり、神の御霊が自分のうちに住んでおられることを知らないのですか。  ピリ2:13 神はみこころのままに、あなたがたのうちに働いて志を立てさせ、事を行わせてくださる方です。  □序論\_キリスト(創3:15、出3:18、イザ7:14、マタ16:16)にあって三位一体の神様が目に見えないように聖霊でともに  1.問題、葛藤、危機の中に、すでに答えを持って行くこと(キリストの光を持って行くことだから暗闇が崩れる。)  2.御座のやぐらを私の中に建てて、旅程、道しるべ行くように呼ばれた(祈りで300%を作るとき働き)  3.24(味わい)、25(神の国を待つ)、永遠(生かす働き、永遠の作品に挑戦)  □本論  1.巡礼者の道を行くべき-私の100%  1)ヨハ14:16 父はもう一人の助け主をお与えくださり、その助け主がいつまでも、あなたがたとともにいるように  2)ヨハ14:26 聖霊があなたがたに臨めば、すべてのことを思い起こさせてくださる  3)ヨハ16:13 これから起こることをあなたがたに伝えてくださる  4)使13:1-4 現場に行って完全に聖霊の導きを受けた。  5)使16:6-10 門がふさがったとき、聖霊に導かれたがマケドニアに。  6)使19:1-7 ティラノに行く前にマルコの屋上の部屋にあった力、そのとおりに  2.治療者の道を行くべき-現場100%  1)マコ16:15-20 わたしの名によって悪霊を追い出し、新しいことばで語り、その手で蛇をつかみ、たとえ毒を飲んでも決して害を受けず、病人に手を置けば癒やされる  2)使1:8 聖霊に満たされれば力を受けて地の果てまで証人になる  3)使13:5-12 暗闇に覆われた町を癒やし  4)使16:16-18 悪霊につかれた者を癒やし  5)使19:8-20 不治の病の者を癒やし  3.見張り人の道-暗闇に陥っているので、やぐらを建てて光を照らすこと  1)使17:1、18:4、19:8 会堂で　2)使19:21、23:11、27:24ローマに  3)ロマ15:23イスパニア  □結論\_暗闇征服する征服者-権威ある祈りを使いなさい。  使3:1-12ナザレのイエス・キリストの名によって立ち上がり、歩きなさい  使8:4-8イエス・キリストの名によって祈り→悪霊が離れて病気が癒やされる  使16:16-18ナザレのイエス・キリストの名によっておまえに命じる、この女から出て行け。  ピリ3:21万物を従わせる御名　ヨハ14:14イエス・キリストの名によって  △イエス・キリストの御名によって、すべての暗闇、のろい、不信仰、サタンの権威が縛られることを祈りなさい。RCAの祈りをお願いする。 |